

# 三重県立熊野古道センターからのてがみ

"The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center"

## 2018.秋号

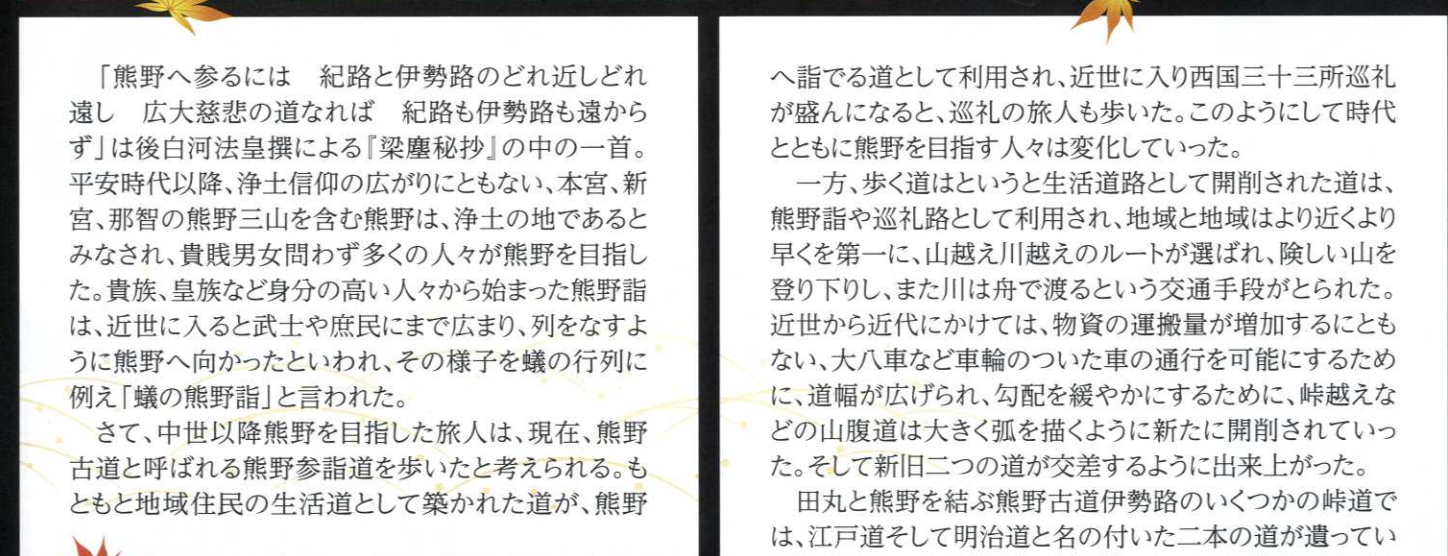
通号 No.48



急傾斜の江戸道(始神峠道)



緩やかな勾配の明治道(始神峠道)



江戸道と明治道の分岐(始神峠道)

# 熊野への道

～時代とともに変わる道～

「熊野へ参るには 紀路と伊勢路のどれ近しどれ遠し 広大慈悲の道なれば 紀路も伊勢路も遠からず」は後白河法皇撰による『梁塵秘抄』の中の一節。平安時代以降、浄土信仰の広がりとともに、本宮、新宮、那智の熊野三山を含む熊野は、浄土の地であるとみなされ、貴賤男女問わず多くの人々が熊野を目指した。貴族、皇族など身分の高い人々から始まった熊野詣は、近世に入ると武士や庶民にまで広まり、列をなすように熊野へ向かったといわれ、その様子を蟻の行列に例え「蟻の熊野詣」と言われた。

へ詣でる道として利用され、近世に入り西国三十三所巡礼が盛んになると、巡礼の旅人も歩いた。このようにして時代とともに熊野を目指す人々は変化していった。

一方、歩く道はというと生活道路として開削された道は、熊野詣や巡礼路として利用され、地域と地域はより近くより早くを第一に、山越え川越えのルートが選ばれ、険しい山を登り下りし、また川は舟で渡るといった交通手段がとられた。近世から近代にかけては、物資の運搬量が増加するにともない、道幅が広げられ、勾配を緩やかにするために、峠越えなどの山腹道は大きく弧を描くように新たに開削されていった。そして新旧二つの道が交差するように出来上がった。

田丸と熊野を結ぶ熊野古道伊勢路のいくつかの峠道では、江戸道そして明治道と名の付いた二本の道が遺っている峠がある。これは前述した新旧のルートで、荷坂峠道や始神峠道などでは今もその遺構が見られ、世界遺産を体感するため多くの人々が歩いている。

かつては数十日と費やした熊野への旅も、車社会の到来で橋やトンネルが構築され、目的地まで数時間で行くことができる。多くの人はその橋の下やトンネルの上には、古の道が通っていることさえ知らない。時間に余裕のない現代に生きる人々。熊野の大自然の中に身を置き、風を感じ、森の香りを味わい、広大慈悲の道で癒されるのも良いかもしれない。

江戸道と明治道が交差する(荷坂峠道)



# 熊野古道からのてがみ

熊野古道から  
のてがみ  
48 通目



熊野古道伊勢路が世界遺産に登録され、多くの人が熊野古道を訪れ、近頃では外国の方々も見かけるようになりました。日本語をあまり理解されない人でも古道を歩いておられます。旅の楽しみの一つは人々との触れ合いだと思います。古道を歩いておられる人に気軽に声をかけてみてはいかがでしょうか。外国の方にも日本語で声をかければ、何かのきっかけになるのではないのでしょうか。

熊野古道伊勢路が世界遺産に登録され、三重県でも外国の訪問者の増加に対応するために「英語の熊野古道語り部養成」の講座をいち早く開催していただき、15年ほど続いており、現在も行われています。馬越峠、八鬼山峠、新鹿、波田須、観音道、松本峠、花の窟、通り峠、丸山千枚田と研修が終わり、今年度は、ツツラト峠を予定しています。参加しておられる皆様から熊野古道の事を色々教えてもらいました。日本語のテキストを読み、英語で表現できるようにし、テキストを見ずに説明できるのが最初のゴールでした。なかなか骨の折れることでしたが、参加した皆さんと楽しく練習できました。覚えたいことはしばらくすると忘れてしまいましたが、また覚えなおしの繰り返しです。

次は紀北町の  
三宅一成さん

東 真人さん  
(紀北町)  
熊野古道語り部友の会幹事

くても木によじのぼる仕組みをもっています。

センニンソウは漢字で仙人草と書きますが、仙人草の名は実ったセンニンソウの綿毛を、仙人の白い毛と見たたものだとされています。センニンソウは有毒植物で食べると危険です。

鹿児島県では馬が食べると、馬の歯が落ちるといいます。鳥取県では、このセンニンソウを他の草に混ぜて牛に与えても食べないで「ウシクワズ」という方言もあります。センニンソウの仲間に紀伊半島の和歌山県南部、三重県南部に自生する「キイセンソウ」が分布しています。このキイセンソウは、限られた場所に生える貴重な植物です。

## 花尻 薫からの季節のたより No.48

山野や道端など、日当たりの良い場所に生えるセンニンソウは、つる状のびるつる植物であります。

北海道南部から本州・四国・九州・中国・台湾に分布する広範囲の植物です。熊野古道沿いでは、いたるところに、つるを伸ばし高い木にたどりつきます。開花は夏の終わりの頃から秋にかけて、多数の白い花を咲かせます。センニンソウの特長は葉の柄にあります。葉の先に何枚かの小さな葉をまばらにつけながら、曲がりくねった柄が特異な姿になり、固いものに触れると長くなり、巻きついています。巻き上げがな



センニンソウ  
キンポウゲ科

センター敷地内「夢古道おわせ」  
お母ちゃんのランチバイキング

営業時間 11:00～14:00  
料金 中学生以上 1,200円  
小学生以上 700円  
4歳～小学生 300円  
4歳未満 無料  
60歳以上 1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」  
深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。  
ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

営業時間 10:00～21:00  
入浴料 一般 600円  
65歳以上 500円  
4歳～小学生 300円  
4歳未満 無料

お風呂あがりは、カフェでゆったり♪  
営業時間 9:00～17:00  
カフェオーダー 16:30  
土日祝のみ16:00から「おわせ塩ラーメン」やってます。

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご入浴できます。

熊野古道センターからのてがみ

●2018年 秋号●

●発行日:2018年9月11日(季刊)  
●編集・発行:三重県立熊野古道センター  
(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)  
●編集担当:玉村  
●連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4  
TEL 0597-25-2666  
FAX 0597-25-2667  
Mail info@kumanokodocenter.com  
●開館時間:午前9時～午後5時  
●入場料:無料  
●休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索

ホームページ  
http://www.kumanokodocenter.com/  
60000180911AT

熊野古道 伊勢路 通行止め一部解除のお知らせ  
熊野古道伊勢路「横垣峠道」の一部(水壺地蔵～横垣峠)は通行が解除となりました。  
●詳しくは御浜町教育委員会 TEL.05979-3-0526までお問合せください。

●お車で越しの方は...  
尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく熊道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)

●電車でお越しの方は...  
JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」前下車→松阪駅  
→南紀特急バス「熊野古道センター」終点下車(約2時間)

古写真をお貸しください

企画展 「知られざる熊野のダム ～北山川水系・銚子川水系の水力発電を科学する～」  
(会期:12月22日～2月17日) に展示する古写真をお貸しください。  
小森、七色、池原、坂本ダムの湖底に沈む前の風景写真や集落写真または建設中に撮影した当時の写真などお持ちでしたら、当センターまでご連絡ください。

池原ダムによる水没前の前鬼口の新しい橋と道路